

## 1 活動の概要

「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を使い自然を楽しむことで、四季折々に自然と人が触れ合いながら、さまざまな発見を通して自然や環境への理解を深める。

## 2 ねらい

- (1) さまざまな感覚で自然を感じ、心と体で自然を直接体験する。
- (2) 自然へ様々な感覚をとぎすまし、観察力を高める。
- (3) 自然への気づきを深め、自然や他者に対する思いやりを深める。

## 3 活動場所

研修室または体育館

## 4 所要時間

1～1.5時間



## 5 準備・服装

個人・団体	なし（動きやすい服装）
青少年の家	生き物カード 動物あてゲームヒントカード 宝さがしカード カモフラージュセット ロープ バンダナ 洗濯ばさみ など内容に応じた準備物

## 6 内容（※詳細は別冊参照）

- (1) ノーズ（5～20分）…リーダーから全員に動物クイズを出すアクティビティ。
- (2) 私は誰でしょう（10～20分）…リーダーが全員からヒントをもらって動物を当てるアクティビティ。
- (3) 動物交差点（20～40分）…自分の背中につけた生き物カードを周囲の人たちに質問しながら当てるアクティビティ。
- (4) コウモリとガ（20～40分）…目かくしをしたコウモリ役がガの役をつかまえるアクティビティ。
- (5) 木の葉のカルタとり（20～40分）…本物の落ち葉を使い、同じ葉を見つけてタッチするアクティビティ。

## 7 留意事項

- (1)活動する対象者や活動時間に応じて柔軟に内容を構成する。
- (2)走り回るアクティビティについては、体育館を使用するなど十分なスペースを確保し、安全に十分気を付けて実施する。